

登録コード	MA750300	開講年度	2026				
授業科目名	病態血液検査学演習					担当教員	松田 和之 他
英文授業名	Practice in Clinical Laboratory Hematology					副担当	平 千明・新井 慎平
単位数	4	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限 月曜・5時限	対象専攻 / 学年	病因・病態検査学領域 / 2年次
講義室	保健学科 1 3 1 講義室		授業形態	演習	授業科目区分	選択科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素						
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)						
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。					血液検査学の最前線に関する情報収集をして、適切に解釈できる。	
(2)授業の概要	血液腫瘍性疾患，血栓止血異常症ならびに血清蛋白異常症に関する検査法の基礎的技術や新しい検査技術とその意義を教授し，病因・病態解析ができる応用能力を育成するとともに，臨床検査の実践の場で異常値や異常反応に対応できる知識と技術を習得する。 また，研究内容に関連する文献講読と指導教員を交えた討論より研究を進めるための基礎的能力を養う。						
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	血液腫瘍性疾患や血栓止血学関連の原著論文を読み，討論を通して分子生物学的解析法と研究方法を習得する。						
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	・ 関連原著論文を読みそれらを研究に应用することができる。 ・ 血液疾患の病態異常に関連する遺伝子異常を検出し，解析できる分析能力を習得する。 ・ 遺伝子異常と臨床的異常との関係を推察し，更に解析を計画する。						
(5)授業計画	各回毎に原著論文を指定し，精読・討論予定を相談し，日程を決めて実施する。 第1-5回 4月13日-5月11日 平 第6--10回 5月18日-6月15日 新井 第10回-15回 6月22日-7月27日 松田						
(6)授業の進め方	セミナー形式で行う。						
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	事前に資料を確認しておく。						
(8)成績評価の方法	レポート・討論内容から総合的に評価する。						
(9)成績評価の基準	討論における用語の適切さ、説明内容の論理的妥当性などを指標として、講義内容の範囲での、最低限の解答内容であれば、「水準にある」、ほぼ適切な解答であれば、「やや上にある」、十分に適切な解答内容であれば「かなり上にある」、該当範囲を超えて自身で能動的に学習した詳細な解答内容であれば「卓越している」と評価する。 レポートに関しては、(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。						
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	随時，質問を受け付ける。 個別の相談は，研究室で対応する。 オフィスアワー;松田、平、新井とも随時対応。事前にメールにて連絡すること。 松田；kmatsuda@shinshu-u.ac.jp 平；tairacha@shinshu-u.ac.jp 新井；arais@shinshu-u.ac.jp						
【テキスト，教材，参考書】	配布する原著論文						